

Josai University

城西大学経営紀要

2025 年 3 月 第 21 号

論文

From Global to Local:

Adaptation of Automotive Manufacturing Practices for
the Kenyan Market.....Mihail Marinov (1)「1 回 30 分, 週 2 回」の運動習慣では
ロコモティブシンドロームは防げない.....石倉 恵介 (25)

法人処罰論に関する一考察.....高橋 欣也 (41)

研究ノート

コロナ禍でのローカルヒーロー活動.....石井 龍太 (61)

FAST の伸長と放送局コンテンツプラットフォームの
新たな可能性について.....辻 俊一 (91)

教育実践研究

教員養成系大学における集中講義での表現系ダンス授業の
実践的研究.....津田麻希子 (103)
佐藤 文

2024 年経営学部教員業績リスト

城西大学 経営学部

城西大学経営紀要

第 21 号

2025 年 3 月

城 西 大 学

2024 年経営学部教員業績リスト

石倉 恵介

「健康イベントでの活動 ― ロコモを知ろう ―」, (石倉恵介, 塚崎杏, 山田晃也, 矢嶋涼, 勝見大也, 川上優翔, 小野澤樹, 和智弦汰, 富徳), 『地域と大学 城西大学・城西短期大学地域連携センター紀要』, (2024), 43-51

「酸化ストレスを用いた長距離選手のコンディショニング評価」, 第 36 回ランニング学会, 2023. 3. 23

「都市部のロコモティブシンドロームの認知度およびロコモティブシンドロームの割合」, 第 32 回日本運動生理学会, 2024. 8. 22

伊関 友伸

『지자체병원, 공공병원 경영개혁』이세키 토모토시 저 추원오 역 OUTLOOK 2024 년 11 월 08 일 (『自治体病院, 公共病院経営改革』伊関友伸著, チュウオン訳, OUTLOOK 社, 2024 年 11 月 8 日)。

「일본의 코로나코로나 19 의료대응과 교훈」(COVID-19 Healthcare Responses and Lessons) 김명희 /Myoung-Hee Kim, 박지은, 김다움, Tomotoshi Iseki 『비판사회정책』 2024, vol. no. 83, pp. 141-188, 비판과 대안을 위한 사회복지학회 (『日本の COVID-19 医療対応と教訓』, キム・ミョンヒ国立中央医療院政策統計支援センター長, パク・ジウン, キム・ダウム, 伊関友伸『批判社会政策』 2024, 通巻 83 号, 141-188 頁, 批判と代替のための社会福祉学会, 日本の自治体病院政策について監修)。

「韓國の公共病院の現状と新型コロナウイルスへの対応」『社会保険旬報』 no 2924, 2024 年 4 月 11 日。

粕谷 和生

『管理会計』(伊藤嘉博, 岩瀬紀子, 鈴木友則, 高橋章乃) 実教出版, 令和 6 年 1 月 25 日 執筆担当: 第 1 章 管理会計の意義と目的 6-11 頁, 第 2 章 管理会計と原価計算 12-15 頁, 第 3 章 貸借対照表のあらまし 28-30 頁, 第 17 章 戦略的コスト・マネジメントの意義と手法 156-157 頁, 第 18 章 目標原価計算 158-162 頁, 第 19 章 活動基準原価計算 163-169 頁, 第 20 章 品質原価計算 170-177 頁, 第 21 章 ライフサイクル・コストニング 178-184 頁

『ビジネス法規』(森嶋昭夫, 箕輪靖博, 尾島茂樹, 神作裕之, 藤巻義宏) 実教出版, 令和 6 年 1

月25日 執筆担当：第6章 紛争の解決と予防 204-214 頁，第7章 税と法規 216-238 頁

上村 聖

『コスト激増時代必須のマネジメント手法「物流コストの算定・管理」のすべて [第二版]』（共著者：久保田精一・浜崎章洋・上村聖）出版社：創成社 執筆担当：第1章3節 歴史に学ぶ物流コスト，第2章 物流担当者が知っておくべき「物流コスト」の知識（1, 2節），第3章 ケース①，第5章2節4 受注関連の簡便法フォーマットと原価計算上の留意点

「トラック運送事業におけるデジタル機器の導入と活用実態に関する研究」（共同執筆者名一上村聖，土井義夫，黒川久幸，久保田精一），2024年6月，『日本物流学会誌』第32号，日本物流学会，95-102 頁

「KPI からみた各種デジタル機器・システムとの関係性に関する研究」（共同発表者名：土井義夫，上村聖，黒川久幸，久保田精一）2024年9月21日，第41回日本物流学会全国大会 東京海洋大学（越中島キャンパス）

菊澤 研宗

Environmental Change and Rational Failure of the Firm: Application of an Integrated Model of Transaction Costs and Dynamic Capacities, *SN Business & Economics* (Springer Web Journal) 2024. 1.

「ダイナミック・ケイパビリティとコーポレート・ガバナンス ― 社外取締役重視か社内取締役重視か ―」『城西大学大学院経営学研究科20周年記念誌』26-33 頁，2024年3月

「ダイナミック・ケイパビリティ・ベースの人的資本経営 ― 市場，組織，そしてハイブリッド ―」『三田商学研究』67巻3号，141-152 頁，2024年8月

櫛部 静二

「パラミロン高含有ユーグレナ EOD-1 摂取による大学男子駅伝部選手のリカバリー，コンディションへの影響」2024年9月21日，日本スポーツ栄養学会 第10回大会

篠原 康男

「小学生の50m走における疾走速度変化の定量的評価とその縦断的な検討」（篠原康男・鳥取伸彬・前田正登）2024年2月22日，日本陸上競技学会第22回大会

「姿勢制御に着目したスプリントスタートにおける false step 戦略」（田中創・園部元康・藤本雅大・工藤将馬・稲井卓真・篠原康男）2024年11月16日，日本機械学会スポーツ工学・ヒュー

マンダイナミクス部門講演会 2024 (SHD 2024)

「因子分析を用いた小学生の 50 m 走における疾走能力の定量的評価に関する検討」(篠原康男・鳥取伸彬・前田正登) 2024 年 12 月 1 日, 第 30 回日本バイオメカニクス学会大会

志田 崇

「電力業界の独立組織有効性の視点から見たイノベーション戦略の研究 ― 日本と海外企業の組織比較を事例として」2024 年 6 月 22 日, 『関西実践経営 65 号』, 実践経営学会, 47-65 頁

「循環型社会での製造業におけるビジネスモデルの考察～EPR「拡大型生産者責任制度」を事例として」, 2024 年 11 月 30 日, 『関西実践経営 66 号』, 実践経営学会, 47-63 頁

「環境×ロジスティクス」, 2024 年 12 月 19 日, SOLE (ロジスティクス学会) 日本支部 12 月度月例会

朱 洪双

「Review of Previous Studies on the Expansion of E-commerce in the Distribution Sector」(Takeshi Okayama・Xueying Wu・Hongshuang Zhu・Takuya Urakami) 『商経学叢』第 71 巻第 2 号 (通巻第 205 号), 近畿大学商経学会, 197-216 頁。

杉本 理

「中国ゲーム産業における構造変化 ― ゲーム業界におけるテンセントの戦略分析 ―」(毛 明宏・杉本 理), 『城西大学経営学研究科紀要』第 20 巻第 1 号 (2024 年 9 月) 城西大学, 41-61 頁

鈴木 一生

『海外で求められる大学図書館員像の実際 ― 経営計画・人事政策・研究データ管理 ―』(鈴木 一生・百鳥直樹・竹田咲子・富田有美・河本毬馨・小泉公乃・逸村裕), 国立大学図書館協会, 2024, 67 頁

「欧米におけるオープンサイエンス時代の大学図書館員像と日本への示唆」, 『図書館雑誌』第 118 巻 11 号, 2024, 660-663 頁

高橋 欣也

「大規模災害における過失犯の成否に関する一考察 ― 東京電力福島第一原子力発電所業務上過失致死傷事件 第一審判決を素材として ―」, 『城西大学大学院経営学研究科 20 周年記念誌』城

西大学大学院経営学研究科, 44-53 頁

「特殊詐欺のすり替え窃盗事案における実行の着手について ― 最三決令和4年2月14日刑集76巻2号101頁を契機として ―」, 『The Josai Journal of Business Administration』第20巻1号(2024年9月)城西大学, 1-19 頁

千葉 佳裕

『Revamping pace distribution: A case study on elevating men's 400 m track and field of Japanese national record after 32 years』(Chiba Y, Sato K, Yoshimoto T, Ohnuma H, Yamanaka R, Takahashi K, Kobayashi K, Matsubayashi T, Takai Y) 出版社 J Strength Cond Res

陸上競技男子 400 m 走選手における記録の変遷とトレーニング戦略: 大学入学時から 2021 年東京オリンピックの期間を対象として(千葉佳裕, 佐藤拳太郎, 吉本隆哉, 山中亮, 高井洋平) スポーツパフォーマンス研究

Investigation of muscle activity levels of trunk and pelvis muscles during sprinting using T2-weighted magnetic resonance images, Yoshimoto T., Chiba Y., Ohnuma H., Sugisaki N., Journal of Human Kinetics

塚本 成美

「経営社会学の視座 ― 経営と社会 ―」, 『城西大学大学院経営学研究科 20 周年記念誌』城西大学経営学研究科, 34-43 頁

「働く後期高齢者の社会参加パターンと関連要因」(森下久美, 中村桃美, 松田文子, 渡辺修一郎, 塚本成美, 石橋智昭), 『老年社会科学』Vol. 45 No. 4 日本老年社会学会, 353-363 頁

「就労による高齢者の介護予防と社会参加 ― シルバー人材センターの「生きがい就業」と介護予防 ―」, 『ケアする介護コラム』ケアスル介護, <https://caresul-kaigo.jp/column/articles/35053/>

辻 智佐子

「今治タオル工業における技術および分業構造の変化(2): 1960 年代~1970 年代初頭」, 『現代社会研究』第 21 号, 東洋大学現代社会総合研究所, 71-83 頁

「デジタル時代における映像マスメディアの経営環境変化と制度改革に関する一考察(後編)」(辻智佐子・辻俊一・渡辺昇一), 『城西大学経営紀要』第 20 号, 城西大学経営学部, 1-44 頁

今治市立図書館「タオルびと」(毎月 16 日最新記事配信中)(<http://www.library.imabari.>

ehime.jp/towelbito/)

東海林 毅

「大学サッカークラブのライフスキルコーチング」日時：2024 年 7 月 3 日～5 日 学会名：European College of Sport Science Glasgow 2024 the 29th Congress

松田晃二郎

「大学生スポーツ競技者の新型コロナウイルス感染症による ストレス体験後の心理的变化の実態把握：肯定的変化と否定的変化に着目して」松田晃二郎・相羽枝莉子、『総合科学』第 29 巻 2 号, 13-29 (2024).

「臨床実習を経験することによる作業療法学生の心理・行動的变化 ― 利得接近志向, 損失回避志向, セルフコントロール, インターネット依存度に注目して ―」平澤勉・青木克実・深町晃次・松田晃二郎,『リハビリテーション教育研究』第 30 巻, 25-30 (2024).

“Negative interaction between emotional vulnerability and depressive symptoms may heighten suicidal ideation among Japanese university students: a cross-sectional study” Yamaguchi, S. Nagamine, D., Murofushi, Y., & Matsuda, K. *Frontiers in Psychiatry*, 15, 1383907. doi: 10.3389/fpsy.2024.1383907. (2024).

ミハイル・マリノフ

「Beyond Assembly Lines: Exploring Added Value in Manufacturing」, 2024 年 2 月 22 日, Management University of Africa, 10th MUA International management and Leadership Conference

「EV 普及による自動車産業変革期にトヨタ生産技術 (ME) に戦略的価値はあるか?」, 2024 年 9 月 21 日, 国際戦略経営研究学会 2024 年度年次大会

「The Technology of Car Manufacturing in Kenya: A Case Study of Toyota」, 2024 年 11 月 9 日, Piece as a Global Language (PGL) 2024 Conference

柳下 正和

「寄付金による地域協創活動の研究 ― 新しい形のふるさと納税の活用 ―」(柳下正和, 于洋, 青柳龍司)『The Josai Journal of Business Administration (城西大学大学院経営学研究科紀要)』第 20 巻第 1 号, 21-40 頁

山口理恵子

『〈メガイベントの遺産〉の社会学：2020 東京オリンピックは何を生んだのか』（石坂友司，小澤考人，金子史弥，山口理恵子編著）青弓社 執筆担当：第14章 スポーツ組織の取り組みから「ジェンダー平等」を問う，270-278 頁

Roundtable Discussion with Professor Eddie Comeaux & Dr. Fumi Isshiki. "From Athlete Abuse to Sports Justice" UC Riverside, Sep. 5, 2024.

「城西大学経営紀要」投稿規程

2024年11月15日 改訂

第1条 趣 旨

城西大学経営学部の研究の実績と教育効果を学部学生及び広く社会に広報し、当該学部の発展に寄与するために「城西大学経営紀要」（以下「紀要」という。）を編纂する。

第2条 管 理

「紀要」の管理・運営は教授会の議決を経て行い、「紀要」の編集等に関する実務は「経営学部紀要編集委員会」（以下、「編集委員会」という。）が担当する。

第3条 投稿資格

「紀要」に投稿できる資格を有する者は次の各号に掲げる。

- ① 本学経営学部専任教員
- ② 本学非常勤講師
- ③ 「編集委員会」の許可を得た者

第4条 投稿原稿

- (1) 投稿原稿は、広義の経営学に関するテーマで、日本語又は英語で書かれた未公開の「学術論文」、「研究ノート」、「教育実践研究」、翻訳、「資料」、「書評」および紀要編集委員が認めたものに該当するものとする。
- (2) 投稿原稿は、執筆要領の定める様式に基づいて執筆し、完成原稿にて提出するものとする。
- (3) 投稿原稿の提出は、執筆要領に従うものとする。

第5条 著作権と著作物

- (1) 本著作物の「紀要」に関する著作権は、著作者に帰属されるが、本「紀要」に限定して別紙「紀要の著作権に関する承諾書」を交付する手続をした場合は城西大学に帰属するものとする。
- (2) 前項において、学部を離職等の場合も、本「紀要」には適用する。

- (3) 前1項の手続きを得ない場合には「紀要」に掲載されないこととする。

第6条 他機関への投稿

本「紀要」に掲載された著作物を他の出版物に転用する場合は、予め「編集委員会」にその旨を記した書類を提出し了承を得ることとする。

第7条 掲載の採否

- (1) 本「紀要」への投稿原稿の採否は、「学術論文」については「編集委員会」が委嘱するレフリーの審査に基づき、「編集委員会」が決定する。
- (2) 前項以外のものについては、「編集委員会」が決定する。
- (3) 掲載の順序及び体裁については、「編集委員会」が決定する。

第8条 原稿料、印刷経費等

- (1) 原稿料は支払わない。ただし、30部の抜き刷りを贈る。
- (2) 前項で30部を超えた部数を必要とされる場合には、当該分の印刷費は執筆者の実費負担とする。
- (3) 紀要本体の印刷総数は、「編集委員会」が年度ごとに審議し、教授会が決定する。

付 則

1. この規定の改正は、教授会の議決を経て行う。

2005年6月10日 施行

2008年9月10日 改訂

2011年1月21日 改訂

2015年7月17日 改訂

2021年2月19日 改訂

執筆者紹介（本号掲載順）

Mihail Marinov（本学経営学部 助 教）

石 倉 恵 介（本学経営学部 教 授）

高 橋 欣 也（本学経営学部 准 教 授）

石 井 龍 太（本学経営学部 非常勤講師）

辻 俊 一（キャメルウイング合同会社）

津 田 麻希子（本学経営学部 非常勤講師）

佐 藤 文（白梅学園短期大学 准教授）

編集後記

コロナ禍が落ち着き、研究方法も以前のようなフィールド調査やヒアリング調査が積極的に行えるようになった。21号では、論文3本、研究ノート2本、教育実践研究1本の合計6本の研究成果が掲載され、フィールド調査にもとづいた内容も散見でき、幅広い分野から投稿をいただいた。

大学の主な役割のひとつは、研究機関として研究成果を社会に還元することである。大学業務が研究と教育以外のところで増加し、研究時間を確保するだけでも難しい時代にあるが、研究成果の公表は大学にとって社会的責任であり、われわれ研究者の存在意義でもある。今後も、『城西大学経営紀要』をとおして経営や経済、教育に関連したさまざまな視点からの研究成果が生まれることを期待したい。

編集委員

辻智佐子，柳下正和，櫛部静二，井田浩之

城西大学経営紀要 第21号

令和7年3月31日 発行 (非売品)

編集者 城西大学経営紀要編集委員会
発行者 城西大学学長 藤野陽三
印刷者 株式会社 外為印刷
発行所 城西大学
埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL 049-286-2233 (代)
〒350-0295

© 2024 城西大学

JOSAI MANAGEMENT REVIEW

Vol.21 No.1 March 2025

Articles

From Global to Local:

Adaptation of Automotive Manufacturing Practices for
the Kenyan Market.....Mihail Marinov (1)

Awareness and prevalence of locomotive syndrome
in urban areas.....Keisuke Ishikura (25)

A Study on Corporate Criminal Liability.....Kinya TAKAHASHI (41)

Study Notes

Local hero activities during the coronavirus pandemic
.....Ishii Ryota (61)

Growth of FAST and new possibilities for
broadcasting station content platforms.....Shunichi Tsuji (91)

Educational Practice Researches

A practical study of expressive dance classes
in intensive courses at teacher training universities
.....Makiko Tsuda (103)
Fumi Sato

Faculty of Management, Josai University

1-1, Keyakidai, Sakado-shi
Saitama, JAPAN